

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 1 - 21)

<b>件名</b>	高レベル廃液濃縮缶のデミスタにおける詰まり																									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 高レベル廃液濃縮缶</p> <p>(2) 発生の状況 高レベル廃液濃縮缶の運転中</p> <p>(3) 概要 蒸発蒸気のみスト除去を行うデミスタ (気液分離器) 内部の固形物 (硝酸塩類) 堆積による詰まり</p>																									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している高レベル廃液濃縮缶内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 高レベル廃液濃縮缶のデミスタに詰まりが生じた場合、濃縮缶内に設置されている圧力計が圧力上昇を自動的に検知して、加熱蒸気の供給を停止し、高レベル廃液濃縮缶を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 詰まりの除去作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 高レベル廃液濃縮缶の自動停止に伴い、高レベル廃液濃縮設備前後の工程の運転に影響が生じる。さらに上流、下流の分離建屋前後の工程は、その中間にある一時的な貯留槽 (上流: 抽出廃液供給槽、下流: 高レベル濃縮廃液一時貯槽) の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>																									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) デミスタ内部に詰まりが発生していることをデミスタの圧力計により確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、デミスタ除染用のラインより硝酸等を流し、デミスタ内を洗浄して詰まりを除去する。</p> <p>(3) 詰まりが除去され、デミスタの差圧が正常値に回復した後、定められた操作手順に従って運転を再開させる。</p>																									
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表 (ホームページへ掲載)																									
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;">                     国際評価尺度 (INES) のレベル                       日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">                     放射性物質の外部放出 工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">運転制御・除染からの漏洩等 多重防護の劣化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 工場外への影響	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響	(c) 当該機器を停止して復旧	運転制御・除染からの漏洩等 多重防護の劣化		(d) 当該設備を停止して復旧			(e) 影響範囲の設備を停止			
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table>		0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 工場外への影響														
0以下		1		2	3	4	5	6	7																	
(b) 運転システムを切り替えて復旧		(レベル2以下は工場外への影響はない)		放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響																						
(c) 当該機器を停止して復旧		運転制御・除染からの漏洩等 多重防護の劣化																								
(d) 当該設備を停止して復旧																										
(e) 影響範囲の設備を停止																										

